

脳卒中政策に関する初の「脳卒中患者意識調査」を実施 **「脳卒中政策サミット(10/10)」にて正式発表**

調査結果のポイント（中間速報値）

- **脳卒中政策について低い満足度 ——特に国の取り組みと患者参画——**
- **患者・家族の約9割が、脳卒中を経験したことで人生に不安を感じている**
- **治療面での不安のみならず、経済的・社会的不安の存在が明らかに**

日本医療政策機構の患者支援部門である市民医療協議会 慢性疾患政策情報センターは、全国の脳卒中患者を対象に、脳卒中政策に関する初の「脳卒中患者意識調査」を実施いたしました。

この調査結果は10月10日（土）開催の「脳卒中政策サミット」にて公表します。同サミットでは、患者視点の「脳卒中对策基本法」の制定に向け、当意識調査結果を踏まえ、主要ステークホルダーが具体策を提唱していきます。

⇒別紙にて、調査結果の一部をご案内申し上げます。

（全文は「脳卒中政策サミット」で発表）

■「脳卒中政策サミット」の概要（詳細別紙）

日時：2009年10月10日(土)14:00～18:00（13:30開場）

場所：国連大学 5F エリザベス ローズ国際会議場（東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

趣旨：脳卒中医療における課題や、患者さんの抱えている問題点を改めて見直し、その具体的な指針を明らかにするとともに、「脳卒中对策基本法」制定の意義を提唱します。

主催：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 市民医療協議会 慢性疾患政策情報センター

■「脳卒中患者意識調査」の概要

調査時期：2009年9月

調査対象：全国の脳卒中患者・家族

調査方法：以下の2通りの方法にて実施

①「特定非営利活動法人全国脳卒中者友の会連合会」の各加盟患者団体の代表者より
団体会員へ郵送にて調査依頼（合計=1989）。

②「社団法人日本脳卒中協会」の各全国支部より、通院中の脳卒中患者に対し調査票の手渡しにより調査依頼
（合計=975）。

有効回収数：535

〔最終発表版の有効回答数は1000を超える予定です〕

■ 「脳卒中患者意識調査」の結果（一部：中間速報値）

1. 脳卒中政策について低い満足度 ——特に国の取り組みと患者参画——（図1）

最も満足度が高い項目でも「とても満足」「やや満足」の合計は、36.1%にとどまり、全体的に低い満足度であることが明らかになった。特に、「国をあげた取り組み」、「患者や市民の声の反映」は、最下位2つであった。

2. 患者・家族の約9割が、脳卒中を経験したことで人生に不安を感じている

「ご自身、あるいは、ご家族が脳卒中を経験したことで、人生に不安を感じたことはありますか？」という問いに対して、不安を感じたことがあると答えた回答者は、「とても不安」（62%）、「やや不安」（29%）であり、合計で91%の回答者が人生に不安を感じていることが明らかになった。

3. 治療面での不安のみならず、経済的・社会的不安の存在が明らかに（図2）

不安の中身は、1位「再発や治療」（79.3%）、2位「家族の負担」（52.7%）、3位「まひや痛みなどの身体的な苦痛」（42.4%）、4位「経済的負担」（41.7%）となり、治療面・身体面のみならず、「家族の負担」や「経済的負担」といった要素が上位を占めていることが明らかになった。

日本医療政策機構とは

特定非営利活動法人日本医療政策機構（東京・千代田区）は、「市民主体の医療政策を実現すべく、中立的なシンクタンクとして、幅広いステークホルダーを結集し、社会に政策の選択肢を提供すること」をミッションとする、超党派・民間・非営利の医療政策シンクタンクです。

<http://www.healthpolicy-institute.org/>

※2 市民医療協議会 慢性疾患政策情報センターとは

市民医療協議会は、日本医療政策機構において、市民・患者主体の医療政策の実現を推進している部門です。慢性疾患政策情報センターは、市民医療協議会内の慢性疾患対策担当チームです。

<http://www.kanjakai.org/>

<http://manseishikkan.org/>

◆脳卒中政策サミットに関するお問い合わせ先

担当：乗竹 杉山 E-mail: stroke@healthpolicy-institute.org

◆取材・報道に関するお問い合わせ先

日本医療政策機構 市民医療協議会

広報担当：湯澤 E-mail: stroke@healthpolicy-institute.org

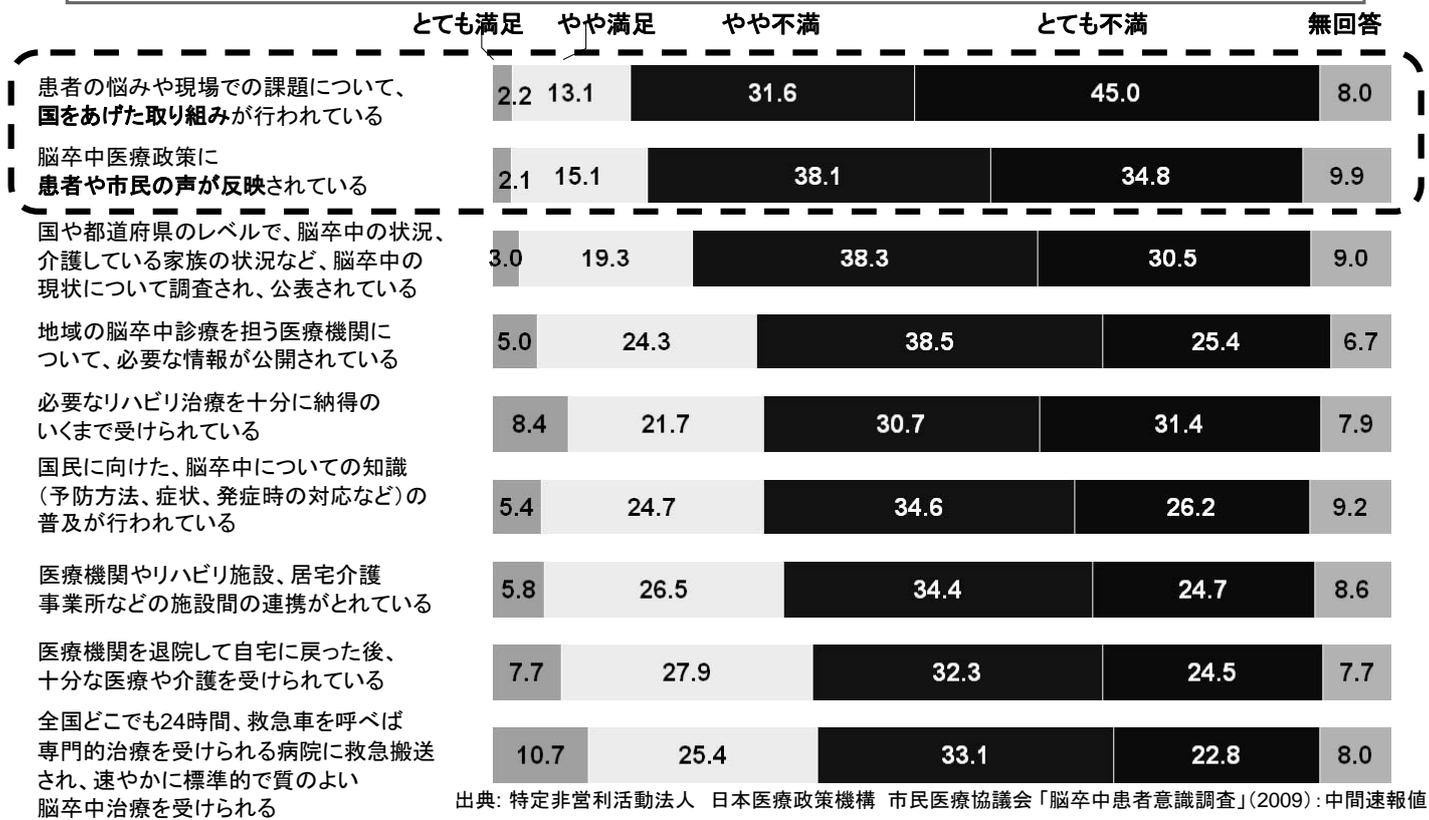
脳卒中の医療政策について 一個別課題の満足度

中間速報値

図1

(%; 2009年9月; n=535人)

脳卒中医療における以下の課題それぞれについての満足度



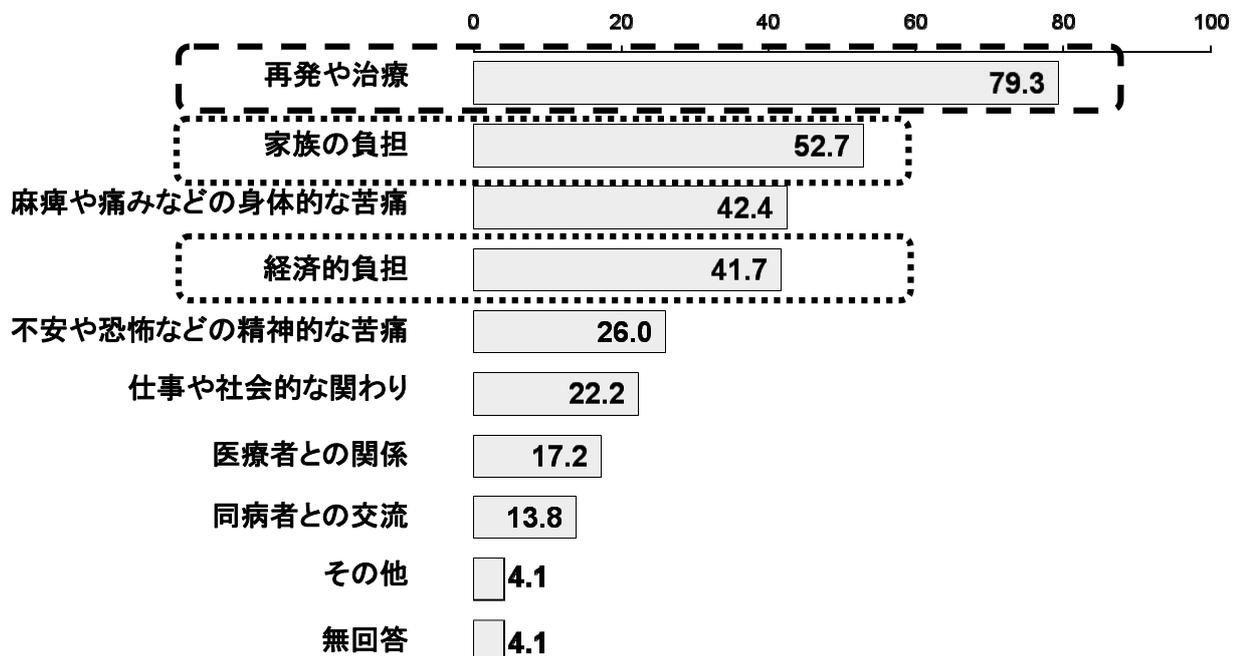
悩みや不安について

(%; 2009年9月; n=535人)

中間速報値

図2

あなたにとっての悩みや不安(複数回答可)





■「脳卒中政策サミット」プログラム

※変更の可能性があります。

・総合司会 ◇乗竹亮治・日本医療政策機構 市民医療協議会 慢性疾患政策情報センター
14:00～ : 開会の挨拶 (総合司会より)

第1部/脳卒中における課題と脳卒中对策基本法の意義

14:05～ : 「患者参加型の脳卒中医療の姿～全国脳卒中者友の会連合会より」

・発症からの軌跡～患者参加の医療を目指して

◇坂口正徳さん・全国脳卒中者友の会連合会 副理事長

・全国脳卒中者友の会連合会の活動紹介

◇玉垣均さん・全国脳卒中者友の会連合会 事務局長

: 「脳卒中医療の課題と脳卒中对策基本法の必要性について」

◇中山博文さん・日本脳卒中協会 専務理事

: 「患者意識調査報告～患者視点による政策課題への提言」

◇日本医療政策機構 市民医療協議会 慢性疾患政策情報センターより

第2部/脳卒中对策基本法案の実現に向けて

15:10～ : 「パネリスト講演：脳卒中对策基本法に期待すること」

◇患者代表：石川敏一さん・全国脳卒中者友の会連合会 常務理事

◇患者支援者代表：山口武典さん・日本脳卒中協会 理事長

◇医療機関代表：小川彰さん・日本脳卒中学会 理事長/岩手医科大学 学長

◇厚生労働省代表：木村博承さん・厚生労働省健康局総務課 生活習慣病対策室長

◇総務省代表：開出英之さん・総務省消防庁消防 救急課救急企画室長

◇ジャーナリスト代表：後藤健さん・NHK 報道局ニュース制作センター
チーフディレクター (ファシリテーター)

15:45～ : 休憩

16:00～ : 「パネルディスカッション：より良い形での脳卒中对策基本法の実現
～患者意識調査報告をどうとらえるか？」

◇ファシリテーター：後藤健さん

◇パネリスト：

石川敏一さん、山口武典さん、小川彰さん、木村博承さん、開出英之さん

◇ご挨拶： 民主党代表者： 参議院議員 鈴木寛さん

自由民主党代表者：参議院議員 石井みどりさん

第3部/総括

17:05～ : 「患者代表者からのメッセージ」

◇石川敏一さん・全国脳卒中者友の会連合会 常務理事

: 「閉会の挨拶：がん対策基本法成立を振り返って～市民医療協議会としての期待
と展望」

◇埴岡健一・日本医療政策機構 理事

17:40 : 閉会

別紙 4頁目 / 4頁

日本医療政策機構 市民医療協議会 行

ファックス送信先：03-5614-7795

「脳卒中政策サミット」参加お申込書

ふりがな	
ご芳名	
ご所属名 (友の会名、医療機関名、企業名、学校名等)	
ご参加者数	名
ご連絡先	ご住所：〒
	TEL： FAX：
	e-mail：

*ご記入頂きます個人情報は、当サミットにかかわる業務目的以外には使用いたしません。

*ウェブサイトからもお申し込みいただけます。 www.manseishikkan.org

(「慢性疾患政策」で検索)

■お問い合わせ先

日本医療政策機構 市民医療協議会 慢性疾患政策情報センター

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-5-3

Tel: 03-5614-7796 (担当：笹原、杉山、乗竹)